

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
安全管理学実習	1年次	必修	実習	1単位（45時間）	相田 武則 ※
授 業 概 要					
医用機器の安全管理において重要な日常点検、定期点検、電気的安全性点検について実習を通じて学ぶ。					
到 達 目 標					
1) 漏れ電流の種類と測定法について説明できる。 2) 測定器具について説明できる。 3) 日常点検、定期点検について説明できる。 4) GWを通じてメンバー間で情報共有し、問題点の発見、改善策が説明できる。					
実務経験のある教員					
相田 武則 外山 竹弥：病院での臨床経験を踏まえ、CEが関わる安全管理の実技について解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1～3	漏れ電流測定 (1)	MD回路作成			外山 竹弥 ※
4～5	漏れ電流測定 (2)	MD回路の周波数特性			〃
6～7	漏れ電流測定 (3)	接地漏れ電流、接触電流			〃
8～9	漏れ電流測定 (4)	患者漏れ電流、患者測定電流			〃
10～11	ME機器点検 (1)	アクティブラーニング演習 (1)			相田 武則 ※
12～13	ME機器点検 (2)	アクティブラーニング演習 (2)			〃
14～15	ME機器点検 (3)	日常点検、輸液ポンプの分解・洗浄			〃
16～17	ME機器点検 (4)	機能点検、輸液ポンプの流量精度測定			〃
18～21	ME機器点検 (5)	ME機器の点検手順書と点検表の作成 (GW演習)			〃
22～23	リスクマネジメント	事例検討 (GW演習)			〃
学 習 方 法					
実習の内容によっては感電する可能性があるのだからしっかりと内容を確認した上で行うこと。漏れ電流をしっかりと理解して実習に臨むこと。					
評 価 方 法					
レポート、課題提出により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版 日本臨床工学技士教育施設協議会 監 医歯薬出版					